

平成 29 年度第 2 回庄原市教頭研修会

平成 29 年 12 月 8 日（金） 庄原市総合体育館

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資すること、特に、第 2 回の本研修会は、来年度の「学びの変革」全県展開を確実にスタートさせるために、各校の取組の進捗を確認するとともに、本年度中に取り組むべきことを明確にすること、そして、来年度、各校で主体的な学びを促す教育研究を組織的に推進するための視点等を明確にすることを目的として実施しました。

【講話】「教育研究の視点からの学校組織マネジメント」

広島県立教育センター 企画部長 中原 朝男



教育研究を通じた組織開発の意義と基本的な考え方、具体的な視点などについて学びました。

- ・教育研究に取り組む際には、教職員個々の自律性と学校としての組織性の両面を育成すること。
- ・教育研究推進においては、教職員一人一人に教育研究の意義や達成感を感じさせること、ミドルリーダーに教育研究の醍醐味を感じさせること。

そのために教頭の果たす役割は重要である。

【講話・協議】『「学びの変革」全県展開に向けて』

庄原市教育委員会教育指導課 指導係長兼主任指導主事 東 直美

「学びの変革」全県展開と新学習指導要領のめざす方向性は同じであることを踏まえ、本年度中の取組と来年度の具体的な実践について確認しました。

また、「主体的な学び」に係る取組を交流し、自校の取組の参考にしました。



【参加者アンケートから】

- ・「学びの変革」全県展開、新学習指導要領への移行に向けて、単元開発、総合的な学習の時間、道徳科、特別活動、外国語科などの計画や授業づくり等、すべきことを確認し、計画的に進める。
- ・「課題発見・解決学習」の質の向上に取り組む。
- ・授業を見る目を鍛え、職員がやる気になる助言や具体的な指導を行い、授業改善を更に進める。
- ・学校を変える、授業を変える、子供を変えるために打って出ること、そのために、ミドルリーダーを動かし、ミドルリーダーに醍醐味を味わわせたい。
- ・教頭の役割として、ミドルリーダーを育て、協働する組織づくりを行うことを日々考えてきたが、今後、組織開発を意識した校内研修を創造していきたい。
- ・今取り組んでいる「型」について、年度末になって改善するのではなく、日常的に PDCA を小さく回すこと、「型」を改善することが大切であることがよく分かった。
- ・教職員の自律性と組織性を高めるため、教職員の内発的動機付けにつながる取組を行いたい。
- ・有能感と関係性を大切にした学校運営と人材育成に取り組みたい。